

2025年8月23日（土）～25日（月） 月山（1984m）、蔵王山（1841m）登山

2022年（令和4年）に月山登山に挑戦しましたが、山頂までは登れず仕舞いで中途半端になってしまいました。2024年に再チャレンジ計画を作ったのですが、今度は台風接近で断念しました。今回は、再々チャレンジによる月山登山となりました。少し欲張って、蔵王山にも足を延ばすことにしました。

今年の夏は猛暑、酷暑が続き、ジッとしていても体力を消耗するような毎日でした。ゆっくりのんびり、そして少しあは涼しい山の風に当たりながら、登山を楽しみたいと思います。

また、移動初日は立石寺（山寺）へ足を延ばして、1015段の階段を登って足慣らしをすることにしました。参加者は令和4年と同じメンバーです。根岸さん、中島さん、服部さん そして吉松の4名です。

レポート：山寺、月山 吉松

蔵王山 中島

立石寺（山寺） 奥の院



月山 アサギマダラ

蔵王山
コマクサ



初日：8月23日（土）晴れ 月山山麓へ向けて移動 途中、山寺で足慣らし 宿泊；月山の宿「かしわや」

東北地方は少しあは暑さが和らぐのではないかと期待していたのですが、今年の猛暑旋風は日本のどこでも吹いているらしく、山形県もかなり暑いとの天気予報でした。

初日は、足慣らしを兼ねて立石寺（りっしゃくじ）（山寺）の長い長い階段を登ることにしました。



東京駅 8時7分発

つばさ 127号で山形駅に向かった。

盆が過ぎた後だった所為か、車内はガラガラ

車中約3時間の暇つぶしの為に、服部さんが某新聞社の「間違い探し」紙面を持ってきてくれていた。

- ・間違い探しの1・・・88ヶ所の間違い探し
- ・間違い探しの2・・・3ヶ所の間違い探し



探しても見つけても、中々88ヶ所にならないのが難点!!
目を丸くしても三角にしても、見つからないのが難点!!



11時 5分 いつの間にか山形駅に到着

涼しいかと思った山形も、暑い、暑い！



間違い探しの2は、力業でやっつけようと思っても無理！

肩の力を抜いたり、紙面を横から眺めたりすると見つけられたりする。

すっかり集中してしまい、車窓から景色を眺める余裕さえなく、山形駅に着いてしまったような気がした。



山形駅西口のトヨタレンタカーで、車種「ルーミー」を借用。車内が広いので、荷物の多くなりがちな我々には最適だ。



(写真は、2日目宿泊宿の玄関前)

山寺へは30分ほどで到着した。

山形では「肉そば」を食べたいという中島さんのリクエストに応えて、山寺の入り口直ぐにあるそば処「信敬坊（しんけいぼう）」で、腹ごしらえをすることにした。



そば処「信敬坊（しんきょうぼう）」

食事さえすれば、山寺散策中もずっと車を置かせてくれるのがありがたい。

肉そば、山形牛入りそば、とろろそば（写真左から）、なんでもござれの美味しいそば処だ。



お腹が一杯になったところで、山寺奥の院まで参拝

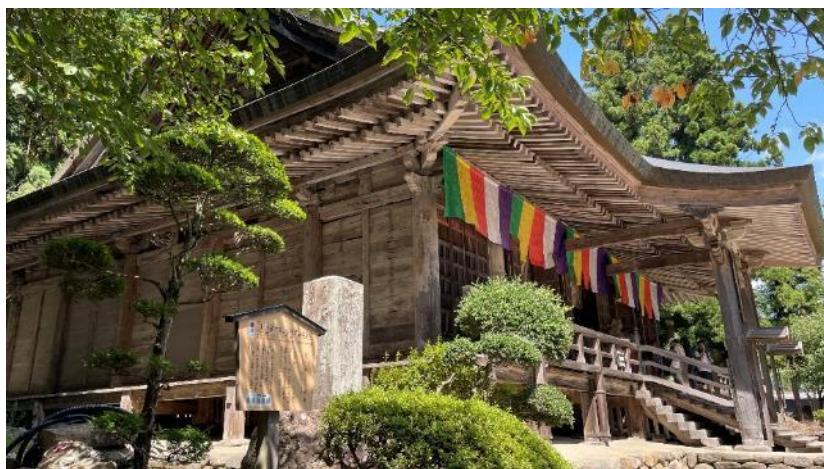


天台宗立石寺（山寺）入口



石段を登り切った先に根本中堂

山寺には多くの堂塔があって、それぞれに御朱印を求めることが出来るようであったが、書置きは無く、御朱印帳持っていないと書いてもらえず、中島さんも、服部さんも入手を諦めた。



有名な「芭蕉句碑」

「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」

芭蕉像 門弟曾良像



出羽国山寺總鎮守

山寺は手を合わせるところが多く、今回は賽銭も随分沢山納めることになった。



こけし塚

「こけし」は水子地蔵が由来との説もあり、厳しかった昔の庶民の生活が思われる。



念仏堂

手前に架かる数珠をクルクル回して念仏をとなえると、ご利益があるとか・・・
続けて、「幸福の鐘↓」も鳴らした。

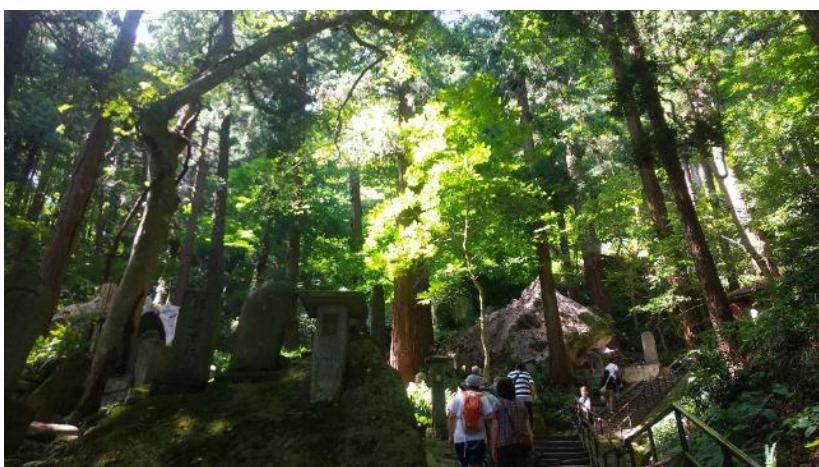


いよいよ山門を抜けて、山寺の寺域に入って行くことにした。1015段を登る。



山門

拝観料は一人500円



途中まで段数を数えていた中島さん、服部さんも途中でカウント断念

日陰に入れば涼しいのだが、直射の当たる場所は相当暑い



せみ塚

芭蕉の句をしたためた短冊を埋めて石の塚を建てたとか・・・



服部さんがにわか俳人となって、何句かひねっていた。芭蕉の「岩にしみ入る」の句が頭から離れないようで、「汗がしみ入る」などと色々ひねり出してはいたが、本人も今一つしつこく途中で断念したようだ。



弥陀洞（みだほら）

阿弥陀如来の摩崖仏



兎に角、日向を避けながらゆっくりと登るしかない。

それでも汗は吹き出し、吉松の登山ズボンも随分汗を吸っていたようだ。

服部さんから「お漏らしをしたような！」と指摘を受ける。



山門を抜けてから30分、小休止

そこでは、「山寺山頂」と書かれたタオルを売っていた。100円也

さらに、濡らしてキンキンに冷やしたものも売っていて、それは50円増し。

下りでは、服部さんは暑さにたまらず買ってしまった。首にかけてその冷たさにご満悦だった。



小さな郵便ポスト
平日 11 時ごろ郵便物を取りに来るそうだ。

根岸さんは、「我々が知らない道があって、
この辺まではバイクで上がってこれるので
はないか」と言っていたが・・



左右の階段を登り切れば、いよいよ奥の院
へ

山門から歩くこと 40 分あまりであった。

1015段を登り詰めて奥の院





日差しは強かったが、下りの階段は流石に楽であった。
登りでは寄らなかった脇道の堂塔などを見ながら下った。



重要文化財
三重小塔



なでぼとけ
おびんするさま

頭部をなでるとボケ防止になると/or
なでぼとけ



最上義光公御靈屋（おたまや）

山形城第十一代当主と家臣の位牌が収められている。



開山堂

立石寺を開いた慈覚大師（じかくたいし）のお堂

左の岩の上の建物は写経を収める納経堂

*石段を右上に登っていくと山寺随一の展望所である五大堂がある。



五大堂に登って、広々とした山寺の家並を眺めた。

（山寺の家並）



五大堂で服部さんが首に巻いているのが、キンキンに冷えた山寺山頂タオル

本人は大いにご満悦！

一時間40分ほどの山寺散策を終えた。明日の月山登山に向けた良い足慣らしとなった

月山の宿に移動する前に、根岸さんの提案で「山寺芭蕉記念館」を少しだけ覗くことにした。



山寺芭蕉記念館



記念館には根岸さんと吉松だけが入館



服部さん、中島さんは疲れたとか言って、中には入らず、2人でお抹茶を楽しんだとか・・・



本日の山寺での全ての予定が終わって、一路、志津温泉月山の宿「かしわや」に向かって車を走らせた。宿で飲む日本酒は、既に山寺で買い求めてある。山形のコメ「つや姫」100%使用の「辨天」だ。準備は万端



16時15分
月山の宿「かしわや」到着

盆明けということもあって、お客は少ない。早速温泉で汗を流した。透明な良い温泉だ。
完全に貸し切り状態。ちょっと失礼してお背中の写真を一枚。



湯上りは男性部屋に集まって、地元の瓶ビール3本、山寺で買い求めた日本酒辨天を飲みながら暫し歓談



(つや姫 100%辨天)

夕食は6時から



大層豪華な夕食に満足

辨天の持ち込みもOKしてくれて、益々嬉しい。



適度な足慣らしもでき、お酒もしっかり頂いて、まずは順調に初日が暮れていきました。